

議会報告会報告書

平成26年8月1日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

A班

代表 河野朋子

平成26年6月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成26年 7月 18日(金) 19:00 ~ 20:50

2 開催場所

出合公民館

3 参加人数(市民)

11 人

4 担当班議員名

(河野 朋子) (河崎 平男) (岩本 信子) (岡山 明)
(長谷川知司) (三浦 英統) (山田 伸幸) ()

5 報告会次第

(1) 市議会議長挨拶

(2) 6月議会の報告

① 総務文教常任委員会 (山田 伸幸) [司会] (河崎 平男)

② 民生福祉常任委員会 (三浦 英統) [記録] (河野 朋子)

③ 産業建設常任委員会 (長谷川知司) [受付] (岡山 明)

④ 一般会計予算決算常任委員会 (岩本 信子)

(3) 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

- ① 山陽オートについて、委託料は以前と比べてどうか。

[回 答]

以前は4～5億円であったが、事業者はかなり負担があったということで、新事業者との契約では最低でも6億5000万円は必要とのことである。

- ② 市の負債についてはいつ頃完済となるのか。

[回 答]

負債が一番大きな課題である。10年くらいかかるのではないかと。

- ③ 市がギャンブルを勧めるのか。

[回 答]

公営ギャンブルということで、とばく罪の適用から除外されている。そのために公共の福祉へ貢献しなければいけないこととなっている。

- ④ 新体制で本当に負債が完済されるのか。

[回 答]

新しい委託先での財政計画はまだ示されていないが、いずれ明らかになる。

- ⑤ 中山間地の住民にとって貴重な足である軽自動車の増税について、議会ですんなり賛成となったのか。

[回 答]

国の示した基準に従わないとデメリットがあるため、反対者はいたものの賛成多数であった。

- ⑥ 民福の報告にあった意見書の内容を教えてください。

[回 答]

ウイルス性肝硬変、肝がんに関わる医療助成制度を作ることと、身体障害者手帳の認定基準を患者の実態に即した基準にすることの2点を盛り込んだ意見書とした。

- ⑦ ウイルス性肝炎認定者の本市だけの数はわからないのか。

[回 答]

宇部山陽小野田美祢医療圏で220人だが、本市だけの認定者数はわからない。

- ⑧ デマンド交通はなぜ一部の地域のみで行うのか。

[回 答]

二つのエリアで試験的に行い、その後市内に広げていく予定である。

- ⑨ 従来の厚狭北部便はどうなるのか。

[回 答]

現在8便あるが、3便は今後も確保、5便は減便の予定である。

- ⑩ デマンド交通に関する厚狭北部での事前アンケートでは市民病院利用者の

36%の人が病院の往復に不便を感じているとのことだが、今回の実証運行で、市民病院まで乗り入れることはできないのか。

[回 答]

そのような要望があったことを、執行部に伝えたい。

- ⑪ 新配水池ができると、既存の配水池はどのようなになるのか。

[回 答]

新配水池の総容量が5000m³であり、計算上はそれだけで山陽地区の必要量を賄うことができる。

今後、実証していかなければならない。

- ⑫ 配水池を新たに建設するが、配水池は何のために必要なのか。

[回 答]

施設が老朽化しているために更新するが、配水池には供給する地区の一日の使用水量の1/2を確保しないといけないことになっている。

- ⑬ 合併10周年記念事業で合唱やオペラをすることになっているが、それで一体感が得られるのか。

[回 答]

この事業は実行委員会体制で行われる予定になっている。これをきっかけにまちづくりが進むことを期待する。

- ⑭ 本市は近隣市に比べ農業に対する予算が少ない。農業施策に力を入れてほしい。

[回 答]

議会としても力を入れて取り組んで行きたい。

- ⑮ 学校給食センターについてはその後どのようなようになったのか。

[回 答]

3月議会で議会は修正可決したが、その後、行政は何の対応もしていないようだ。

- ⑯ 給食に関する請願が3回も継続審査になっているが、いかがなものか。

[回 答]

議会にもいろいろな意見があり、結論が出せない。

- ⑰ セーフティーネットワークの予算で当初22基購入予定だった発電機が19基しか購入できなかったとのが、市の予算で追加購入はできなかったのか。

[回 答]

この事業は補助金事業なので、予算が限られている。19基しか購入できない事実が先日明らかになったばかりである。委員会として今後精査していきたい。

- ⑱ 「コンパクトなまちづくり」についての進捗状況はどうか。

[回 答]

委員会にはまだ報告はない。これからも注視していく。

- ⑲ 今後ますます増えると思われる耕作放棄地の対策をしっかりとしてほしい。

- ⑳ 栗田地区に陸橋があるがほとんど使用されておらず、むしろ横断歩道を設置してほしい。

- ② 河川清掃は高齢者にとって負担となる。そのため現在支給されている委託金を増額してほしい。